

佐賀県の森林組合の現状と分析 (I)

佐賀県林業試験場 坂本 和広

1. はじめに

森林組合が地域林業の中できわめて大きい役割を担っていることは論をまたない。

佐賀県の森林組合は全部で17である。これら森林組合は郡を単位とする広域組合から、市町村の一部地域を区域とするものまで多様なものがある。また、活動内容も積極的に素材生産事業に取り組むものから、従来の手数料徴収組合の域のままのものなど雑多である。

本県林業が健全に発展するためには、これらの森林組合が共に、真に組合員の負託に耐えうるものとなる事が必要不可欠のことである。

本稿は、本県17の森林組合の現状を分析することにより、組合活性化の鍵となる要因を解明し、健全な組合の育成に資することを目的とする。

2. 本県森林組合のあらまし

昭和26年の新森林法の制定によって、旧法により設立されていた森林組合は解散設立と言う手続きをとらないで旧組合の法人格を継承することにより新組合に移行することができた。

昭和26年当時の本県における森林組合数は52であったが、直ちに改組したものは30組合であり、残り22組合は自然解散した。その後の新設、合併等によって現在の組合数は17となっている。表-1は、昭和62年度現在の本県森林組合の状況である。

3. 森林組合の現状

(1) 配置状況

本県の森林組合の配置を見ると図-1にみられるとおり、東部、佐賀市周辺部及び県北西部内の一部に未組織区域がある。これらの地域は、森林面積、人工林率等からみても県平均より大幅に小さい地域であるので、本県は大部分の地域に森林組合が配置されていると考えてもよい。

また、森林組合の区域が市町村の一部である組合は

1, 市町村の区域の組合が11, 2.市町を区域とするもの1, 郡単位のもの3組合となっている。郡単位ものは広域森林組合として森林組合合併促進法に基づいて結成されたものである。

(2) 区域面積

各森林組合の区域面積は、1千ヘクタール未満から1万1千ヘクタールまでの間にあり多様であるが、平均面積は5,245ヘクタールで全国平均の50%にしかすぎない。組合員森林所有面積についても平均3,176ヘクタールで全国平均の50%である。

(3) 組合員

森林組合設置地区内の森林所有者数は24,851人、組合員数は16,755人で、加入率は67.4%である。1組合あたりの組合員数は986人であり、全国平均の1,953人のほぼ半数である。

組合員加入率は、組合間のばらつきが大きく、組合結成時の法律の規定による影響が大きい。表-2タイプ別組合加入率を見ると、タイプ1の平均加入率は49%で低いが、タイプ2の平均加入率71%と高い。しかし、合併等により地域拡大した組合の組合員加入率はタイプ3の65%であり平均加入率よりわずかに少ない。組合員の増加は組合経営の活性化、財務の改善等に直接関わることであり、組合自身による根強い加入説得が必要である。

4. 組合の活動状況

(1) 事業費の分析

森林組合の活動状況を把握し、活性化の要因となるものを推定することは組合の運営方針を決めるうえで極めて重要である。図-2は、森林組合事業の内訳を指導事業、販売事業、購読事業、利用事業、金融事業の5部門に分けその額の推移を表わしたものである。各々の部門の事業費の推移をみると、事業費の総額は年によって増減はあるものの増加傾向で推移している。特に事業費総額は利用事業費との相関がきわめて高く、つづいて販売事業が大きいウェイトを占めていることが

分かる。

次に、森林組合事業費総額と森林面積、組合員数、専従職員数、作業班員数及び出資金額の5項目について重回帰分析を試みてみた。結果は、事業費総額に対する各項目の寄与度（標準化偏回帰係数）は、専従職員数が0.54、出資金額が0.48となり、この2つの寄与度が高く他の項目の寄与度は極めて小さかった。

しかし、本県森林組合のうち、本来の活発な組合活動をを行っている組合は約半数にも満たないために、上記の分析のみで組合の活性度の程度を判定するには無理があるので、次の分析を試みた。

(2) 活動状況による組合の分類

ここ数年来、森林組合の格差は次第に拡大してきている。本県のように平均して人工林率が高く、地位、地利等もほぼ均等条件下で林業経営が行われている状況の中では、森林組合経営の規程は区域森林面積と強い相関があるべきと考えられる、そこで、森林組合を評価する一方法として、区域森林面積と組合事業費の関係によることとした。縦軸に昭和62年度事業費を、横軸に区域森林面積をとり、その関係をみたのが図-3である。

これにより、便宜的に組合を次の4タイプに分類し各種の分析を試みた。

- 1, Aタイプ…森林組合本来の活動を行っていると考えられる森林組合
- 2, Bタイプ…区域森林面積に比べて活発な活動を行っている森林組合
- 3, Cタイプ…組合組織は一応整っているものの、いま一つ活性化に欠けている森林組合
- 4, Dタイプ…従来の手数料徴収型の森林組合

表-1 森林組合一覧表

単位: ha, 戸, 人						
組合名	設立年月日	森林面積	組合員面積	林家数	組合員	加入率
A	27-03-01	592	382	382	302	79.1
B	27-04-14	1,251	829	400	336	84.0
C	32-05-25	2,325	957	201	201	100.0
D	27-03-29	2,367	1,178	424	315	74.3
E	59-10-01	2,680	1,205	327	319	97.6
G	26-12-01	3,824	3,179	873	852	74.7
H	54-09-03	3,919	3,728	1,362	402	29.5
I	27-05-31	4,045	2,630	1,420	662	46.6
J	27-03-10	4,218	3,522	1,653	1,057	63.9
K	17-07-14	4,462	3,556	734	707	96.3
L	26-11-22	4,924	3,536	963	863	100.0
M	48-01-01	5,915	3,260	1,825	1,772	97.1
N	43-03-30	6,649	3,013	2,750	1,490	54.2
O	60-04-01	7,866	5,551	1,355	924	68.2
P	54-04-17	11,117	3,728	4,506	2,212	49.1
Q	40-07-01	11,465	5,840	1,396	1,274	91.3
R	39-05-29	11,544	7,900	4,280	3,167	74.0
計		89,163	53,994	24,851	16,755	67.4
平均		5,245	3,176	1,452	986	67.4
全国		10,455	6,350	2,901	1,953	67.3
全国比		0.50	0.50	0.50	0.50	1.00

S62森林組合一斉調査(全国60)

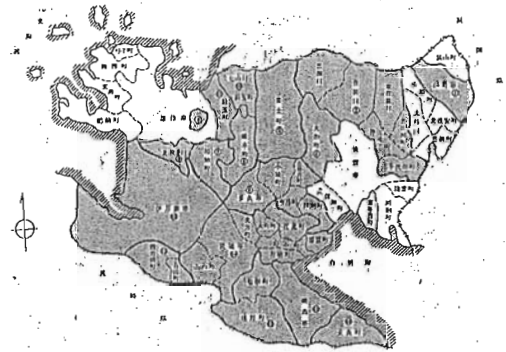


図-1 森林組合区域図

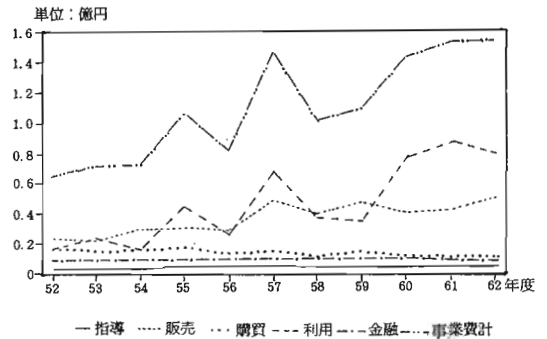


図-2 森林組合事業費の推移

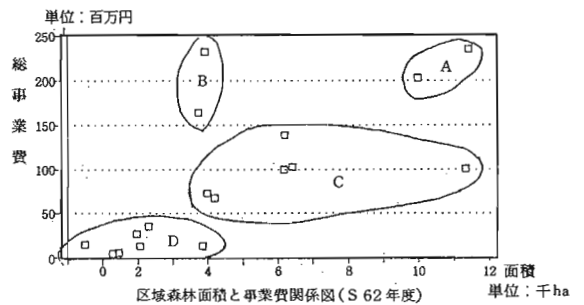


図-3 森林組合分析

表-2 組合加入率

単位: 組合, %			
区分	組合数	加入率	摘要
タイプ1	3	49	26年以降設立組合
タイプ2	10	71	26年以前設立組合
タイプ3	4	65	地区拡大組合
計	17	67	

S62森林組合一斉調査